



子供が自立し

みんなの活躍で創り上げる学校



主体性

自律性

協働性

校長 島 章人

集団宿泊教室で学んだこと

10月9日・10日の2日間、5年生は菊池少年自然の家で集団宿泊教室を行いました。天気にも恵まれ、山登り、ナイトハイク、ヤマメ掴みなど、自然を舞台とした活動を体験することができました。また、「集団宿泊」の名前の通り、親元を離れ、仲間と共に生活をするということも学びになったことと思います。

自然体験と集団宿泊、この2つに共通することは何でしょう。それは、「不都合」だと思うのです。山が平坦だったら、楽に登れてとても都合がいいのだけれど、自然の山は、石が転がっていたり木の根が出ていたり…。たとえば、滑って転んで服が汚れたとしても、だれのせいにもできないのが自然の山です。ヤマメ掴みも、できるだけ大きいヤマメを他に先んじて捕まえたいのだけれど、ヤマメは簡単には捕まえさせてくれません。

では「集団宿泊」はどうか。集団で行動するためには、自分勝手は許されません。ごはんの時間もお風呂の時間も決まっていますし、大好きなゲームはできません。

自分にとって不都合なことから楽しく学ぶのが集団宿泊教室です。引率した先生から、「この2日間で、5年生は大きく成長した。立派だった。」と報告を受けています。5年生の各ご家庭では、子供たちはどんな話しをしていたでしょうか。楽しい思い出として子供たちの中に残ってくれたらいいなあと思います。



何もないことが成果

これまで、万田小児童の登下校を見守っていただいた

「見守り隊」の活動が認められ、この度「くまもと犯罪の起きにくいまちづくり県民会議」から表彰を受けました。隊を代表して、地域学校協働活動推進委員の田添様に表彰式に出席していただきました。「何もなくて当たり前」と思われがちな登下校の見守り。このような形で認めていただき、改めて、感謝の気持ちでいっぱいです。

何もないことは、当たり前ではないのです。「何もないことはお陰様」であることを、全校児童と共有したいと思います。そして、改めて交通安全の大切さを考える機会にもらえるといいなあと思います。

ところで、最近、イノシシが出没します。教育委員会や警察にも連絡し、対策をお願いしているところですが、捕獲には至っておりません。今後も、登下校中など、イノシシに遭遇することも考えられます。学校では、イノシシに近づかないこと、刺激しないこと、目を見ながら、少しずつ距離をとることなど、指導をしています。また、職員数人で見回りをしているところです。

もし、お手すきの保護者等いらっしゃいましたら、児童の登下校の時間に合わせて、自宅の周りを少し見回っていただければ大変有り難く思います。



お知らせ

○荒尾市民文化祭 11月3日(日) 13:00～ 荒尾文化センターにて。万田小3年生が郷土の詩人「海達公子」についての学習報告会を行います。他にもステージ発表や展示等が行われるようです。

○荒尾教育フォーラム 11月16日(土) 14:00～ 荒尾文化センターにて、万田小6年生が、万田坑ガイドの取組や熊日新聞社とコラボした万田坑新聞製作の取組についてステージ発表を行います。